

■人口
36,434人
■世帯数
15,562世帯
令和6年4月1日時点

データの肥大化を防ぐことで サーバー増設の負担を軽減。

自治体が業務で取り扱うデータは増加の一途をたどっている。しかし、サーバーの増設には、人的・経済的コストがかかる。そこで、精華町ではソフトを活用して、ファイルを自動で一括圧縮。職員に負荷をかけず、データのスリム化に成功したという。

その場しのぎのサーバー増設では
増えつづけるデータに対応できない。

デジタル化による業務の効率化が進んでいる。しかしその一方で、書類や画像など保管すべきデータは確実に増加。サーバーやストレージを圧迫しているのではないだろうか。空き容量が不足すると、バックアップが適切に行われなかったり、パソコンの動作が遅くなったりするため、なるべくデータ量を増やさないことが重要になる。「紙の場合は保存期間を過ぎたら廃棄するなど、保管ルールが定まっています。しかし、デジタルデータは破棄の判断が難しいため、庁内的なルールは設けていません。また、物理的に邪魔になるものでもないため、整理整頓しようという意識が働きにくく、どうしてもたまってしまいうのです」と河野さん。

サーバーを増設すれば空き容量は確保できるが、その導入や管理・運用には、人的および経済的コストがかかる。データは今後も増えつづけることを考えると、安易に増設するのは得策ではない。「職員にはムダなファイルを削除したり、サイズが大きい画像はリサイズして使ったりするよう、呼びかけています。しかし、手間がかかることもあり、浸透させる

精華町では職員に負荷をかけずにデータを圧縮

Before

職員に呼びかけ

不要なファイルを捨ててください

画像はリサイズして使ってください

手間が大きく浸透しない…

After

システムで一括圧縮

スケジュールの追加

開始日時: 2024/03/07 0:00
終了日時: 2024/03/07 4:00
繰り返し: 平日(月・金)

日時を事前に設定
圧縮したいフォルダや

対象ファイルを自動で圧縮

様々な機能が自治体の業務を陰から支えてくれる

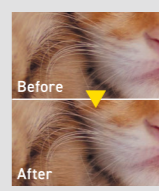
1 各種ファイルを圧縮

自治体でよく使われる、JPEG・PDF・PowerPoint・Excel・Wordに対応。圧縮前後でファイルの操作方法などが変わることはない。



2 画質がほぼ落ちない

解像度や画素数をほぼ落とさずに圧縮。右は19,579KBから2,554KBに約87%圧縮しているが、見た目では区別するのは難しい。



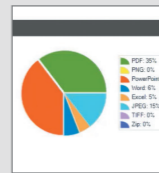
3 拡張子が変わらない

圧縮後もファイル形式がZIPなどに変わることはなく、解凍ソフトは不要。解凍のひと手間をかけず、ファイルをそのまま開くことができる。



4 レポート機能あり

圧縮処理が終わると、ファイル形式ごとに削減された容量などのレポートが自動で作成される。管理画面から効果を確認できる。

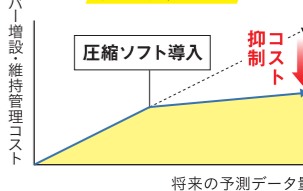


効果1

ファイルが軽くなれば
作業性がアップし、
業務効率が向上する。

効果2

サーバー増設の
スパンを伸ばし、
維持・管理コストを
抑制する!



サーバー増設・維持管理コスト

将来の予測データ量

INTERVIEW



精華町

総務部

参事(デジタル担当)
こうの まさひこ
河野 雅彦さん

総務部 デジタル推進室

室長補佐
ひらばやし かつゆき
平林 克之さん

係長
おおくぼ まさのり
大久保 公則さん

のは困難でした」。職員に対応を依頼するのではなく、デジタル推進室でどうにかできないかと考え、「オーシャンブリッジ」のデータ圧縮ソフト「エヌエックスパワーライト ファイルサーバーエディション」を導入したという。

手間がほとんどかからないため 職員が圧縮に気づいていない。

同ソフトはサーバーにインストールするだけで、指定したファイルを自動的に圧縮。例えば画像の場合、見た目では分からない程度に、色のグラデーション情報などを簡素化し、ファイルそのものの圧縮を図っているという。「解像度や画素数などの画質が落ちたとは感じません。そのため当町では、最上位のフォルダを指定し、基本的には庁内で扱う全ファイルを圧縮しています」と平林さん。圧縮作業は平日の夜間に行われるよう設定しており、日常業務で職員が手を動かすことはほとんどないそうだ。さらに、ファイルの拡張子が変わらないため、解凍ソフトは不要。大久保さんも「通常のファイルと比べても、見た目や作業性はほとんど変わりません。そのため、デジタル推進室以外の職員は、データが圧縮されていることに気づいていないと思います」と話す。また、JPEGやPDF、PowerPointやExcelにWordと、多様なファイル形式に対応できるのも同ソフトの強みだろう。

作業フローをほとんど変えることなく、

データの圧縮に成功した同町。管理する側の職員にとっても、現場の職員にとっても、負荷がほとんどかからないため、安定的に運用できているようだ。

今のうちからデータを圧縮して 将来的に発生する負担を減らす。

圧縮率はファイルによって異なり、画像をたくさん配置したPDFやPowerPointでは、データ容量を最大で90%以上削減することも可能だという。また、管理画面に表示されるレポートでは、ファイル形式ごとの削減容量などを確認できる。データを圧縮できれば、パソコンの処理が速くなり、作業性が向上。職員が集中を妨げられたり、ストレスを感じたりすることも少なくなるのではないだろうか。

こうした利点だけでなく、同町にはある問題意識があったと河野さん。「現場写真を撮影することが多い防災や土木、消防をはじめ、多くの制作物を取り扱う広報や観光など、自治体が業務で取り扱うデータはどんどん増えています。サーバーが1台だけでは足りず、2台、3台と増えれば、管理・運用コストは積み上がる一方です。サーバーの増設は最終手段と考え、日頃から保管データの圧縮に努めることが大切ではないでしょうか。当町にとって、本ツールは“縁の下の力持ち”。目立たないけれど、データの適切な保管には欠かせない存在です」と語ってくれた。

用途で選ぶ

エヌエックスパワーライト 3種類のライセンス

● **ファイルサーバーエディション**
サーバーにインストールして、指定フォルダ内のファイルを一括で圧縮する。精華町はこちらを活用中。

● **デスクトップエディション**
各パソコンにインストールして使うため、少人数での導入にオススメ。

● **ソフトウェア開発キット**
独自開発のアプリケーションやシステムにはカスタマイズして搭載。

CHECK!

無料体験版で 効果を確認できる

デスクトップエディションは14日間の無料体験が可能。ソフトは同社のサイトからダウンロードできる。

お問い合わせ

☎ 070-2490-5712

✉ sales@oceanbridge.jp

株式会社オーシャンブリッジ

パートナー営業部

東京都港区元赤坂1-5-12

住友不動産元赤坂ビル7F

お問い合わせ・
詳細はこちら▶

